

第2章 地域福祉を取り巻く現状と課題

1. 高萩市の現状（統計資料からみる現状）

(1) 人口の推移

本市の人口は、減少傾向にあります。年齢別構成の推移を見ると、少子高齢化が進んでいることがわかります。平成27年では、14歳以下の年少人口が11.2%、15歳～64歳までの生産年齢人口は58.0%、65歳以上の高齢者人口は30.6%となっています。

本市の場合、平成17年から超高齢社会を迎えています。

表1 人口の推移

(単位：人、%)

区 分		H12年	H17年	H22年	H27年	H28年
総人口	人数	34,602	32,932	31,017	29,638	29,207
	構成比	100	100	100	100	100
0～14歳	人数	5,158	4,419	3,810	3,329	3,245
	構成比	14.9	13.4	12.3	11.2	11.1
15～64歳	人数	22,998	21,269	19,134	17,197	16,586
	構成比	66.5	64.6	61.7	58.0	56.8
65歳以上	人数	6,443	7,208	8,064	9,061	9,325
	構成比	18.6	21.9	26.0	30.6	31.9
不詳	人数	3	36	9	51	51
	構成比	0	0.1	0	0.2	0.2

※国勢調査より。平成28年は10月1日現在の常住人口。

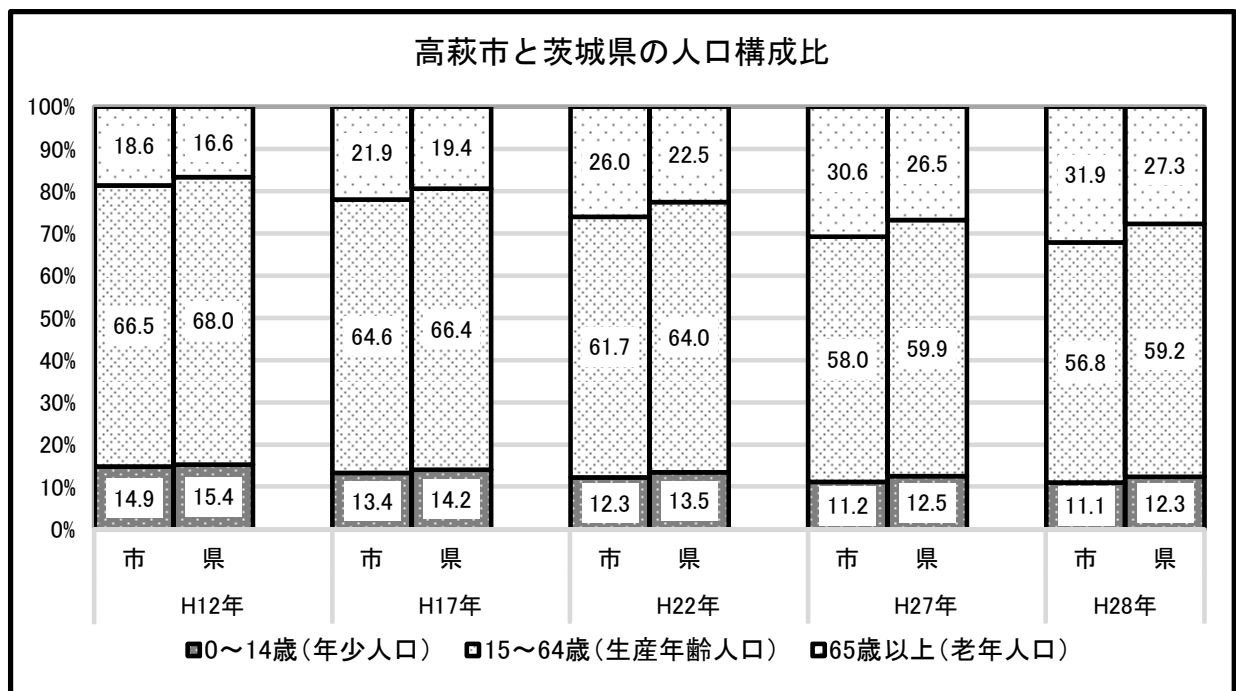
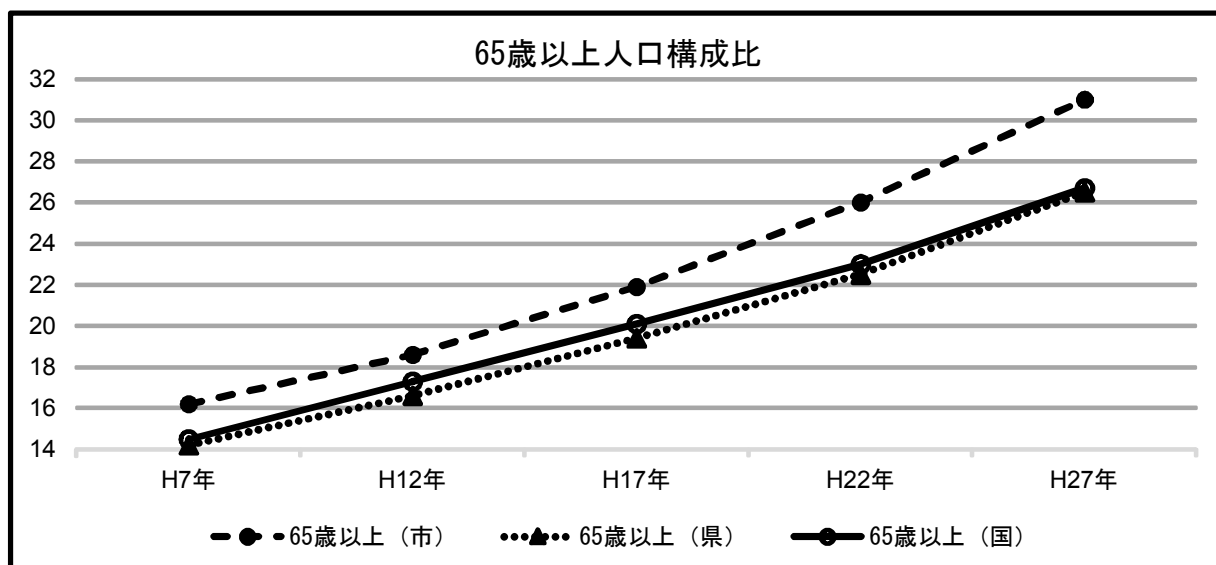


表2 国・県の65歳以上人口構成

(単位:%)

区 分		H7年	H12年	H17年	H22年	H27年
65歳以上(市)	構成比	16.2	18.6	21.9	26.0	30.6
65歳以上(県)	構成比	14.2	16.6	19.4	22.5	26.5
65歳以上(国)	構成比	14.5	17.3	20.1	23.0	26.7

※WHO（世界保健機構）や国連の定義によると、65歳以上人口の割合が21%を超えると「超高齢社会」とされています。



(2) 出生数及び合計特殊出生率の推移

15～49歳の女性人口は、平成28年で5,023人となり、平成24年の5,456人と比べ433人減っています。出生数は、平成28年で187人となっており、平成24年の195人と比べ、若干減少しています。

5年単位で公表される市町村の合計特殊出生率の推移は、本市の場合、平成20年～24年が1.30人で茨城県平均より0.13ポイント低い値になっています。この値は、全国平均よりも低い値です。

表3 15～49歳女性人口・出生者数の推移

(単位:人、%)

区 分	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
15～49歳女性人口①	5,456	5,295	5,130	5,035	5,023
出生数②	195	187	201	187	187
②/① (%)	3.6	3.5	3.9	3.7	3.7

※15～49歳女性人口は、各年とも4月1日現在の常住人口。

※出生数は、各年とも1月1日～12月31日までの数。

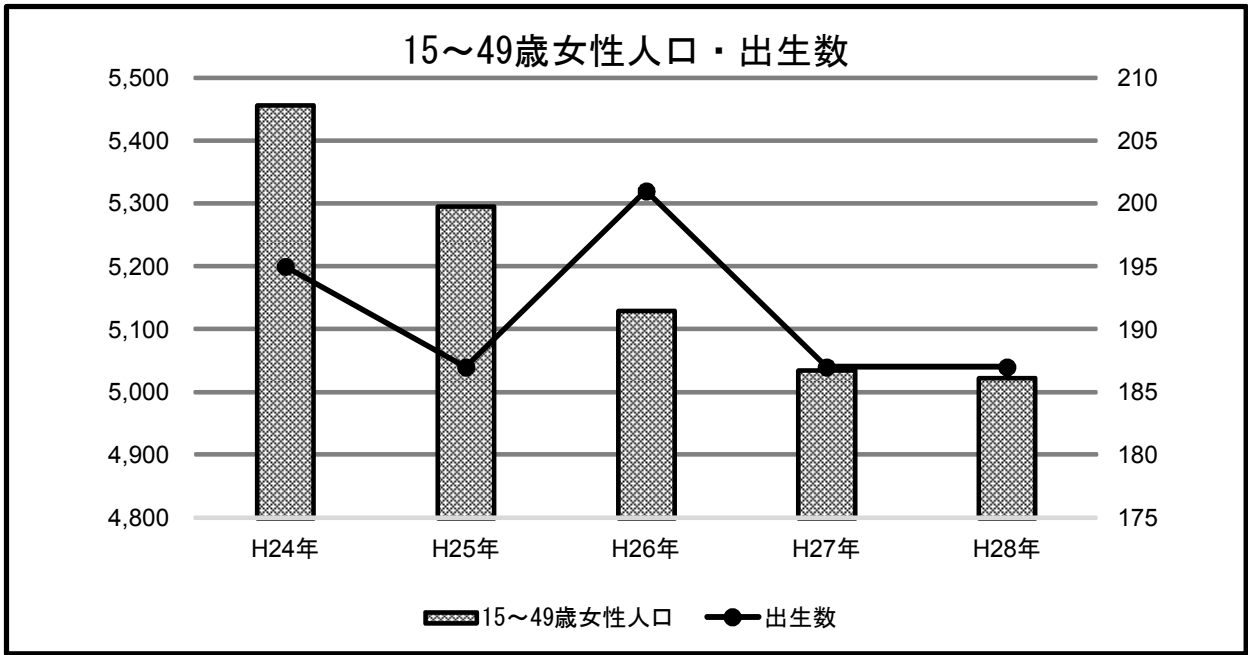


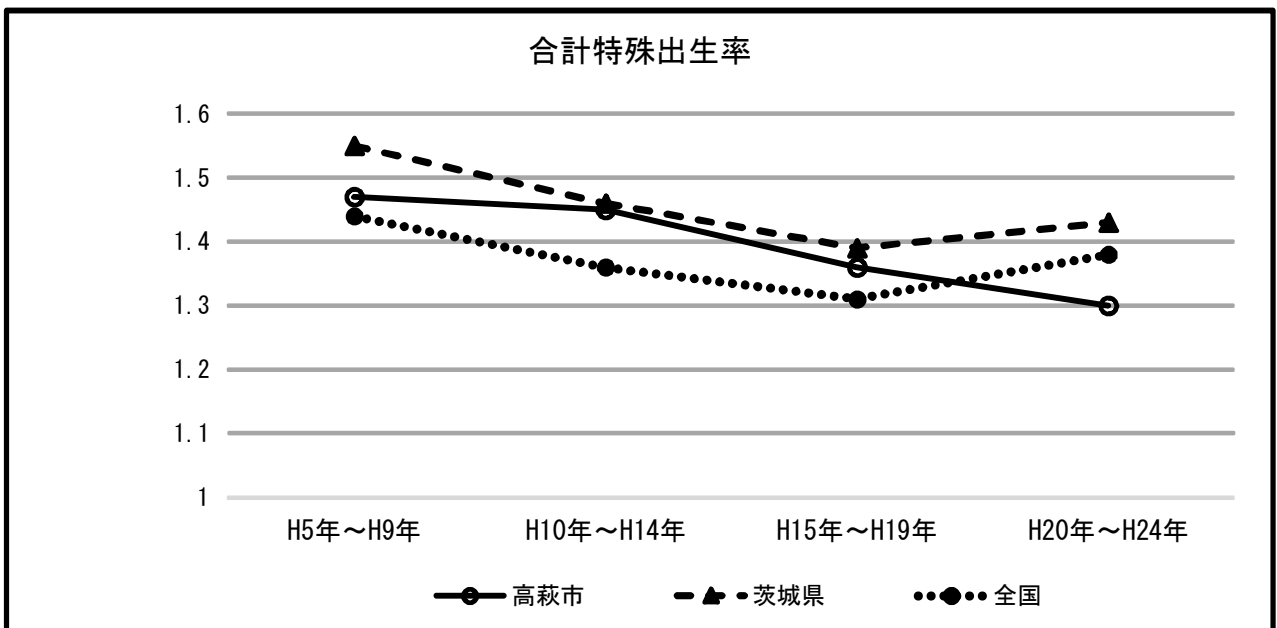
表4 合計特殊出生率の推移

(単位：人)

区分	H5年～H9年	H10年～H14年	H15年～H19年	H20年～H24年
高萩市	1.47	1.45	1.36	1.30
茨城県	1.55	1.46	1.39	1.43
全国	1.44	1.36	1.31	1.38

※合計特殊出生率:15～49歳までの女性が一生の間に生む子どもの数。

※市区町村の合計特殊出生率(ベイズ推定値)は5年毎の「人口動態統計特殊報告」により公表された数値。



(3) 世帯（一般世帯）状況などの推移

本市の世帯状況は、平成 27 年で 11,721 世帯となっており、平成 22 年の 11,639 世帯と比べて 82 世帯とわずかな増加となっています。65 歳以上の高齢単身世帯や夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの高齢夫婦世帯が増加し、総世帯に対する割合も増えています。

表 5 世帯（一般世帯）の推移

（単位：世帯、％）

区 分	H17 年		H22 年		H27 年	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
総世帯数	11,666	100	11,639	100	11,721	100
高齢単身世帯	969	8.3	1,156	9.9	1,387	11.8
高齢夫婦世帯	1,236	10.6	1,427	12.3	1,748	14.9
母子世帯	206	1.8	216	1.9	—	—
父子世帯	35	0.3	28	0.2	—	—

※国勢調査より。

1 世帯あたりの世帯員数は、平成 27 年で 2.52 人となっており、平成 12 年と比べて 0.43 人減少しています。世帯員数別の割合をみると、複数世帯の世帯員数が減少する一方で単身世帯が増加し、また、核家族化が進んでいます。

表 6 1 世帯あたりの世帯員数・世帯員数割合

（単位：％）

区 分	1 世帯あたり の世帯員数	世帯員数割合＝各人数世帯数／総世帯数						
		1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人～
H12 年	2.95 人	19.0	27.0	21.3	19.1	8.5	3.2	1.8
H17 年	2.82 人	20.4	29.9	21.3	17.2	6.9	2.9	1.4
H22 年	2.66 人	23.9	31.1	20.9	15.1	5.9	2.1	1.0
H27 年	2.52 人	26.5	33.4	19.9	12.8	4.9	1.8	0.7

※国勢調査より。

常会等の加入率は、平成 28 年で 63.9%となっており、平成 24 年の 72.3%と比べて 10%近く減少しています。

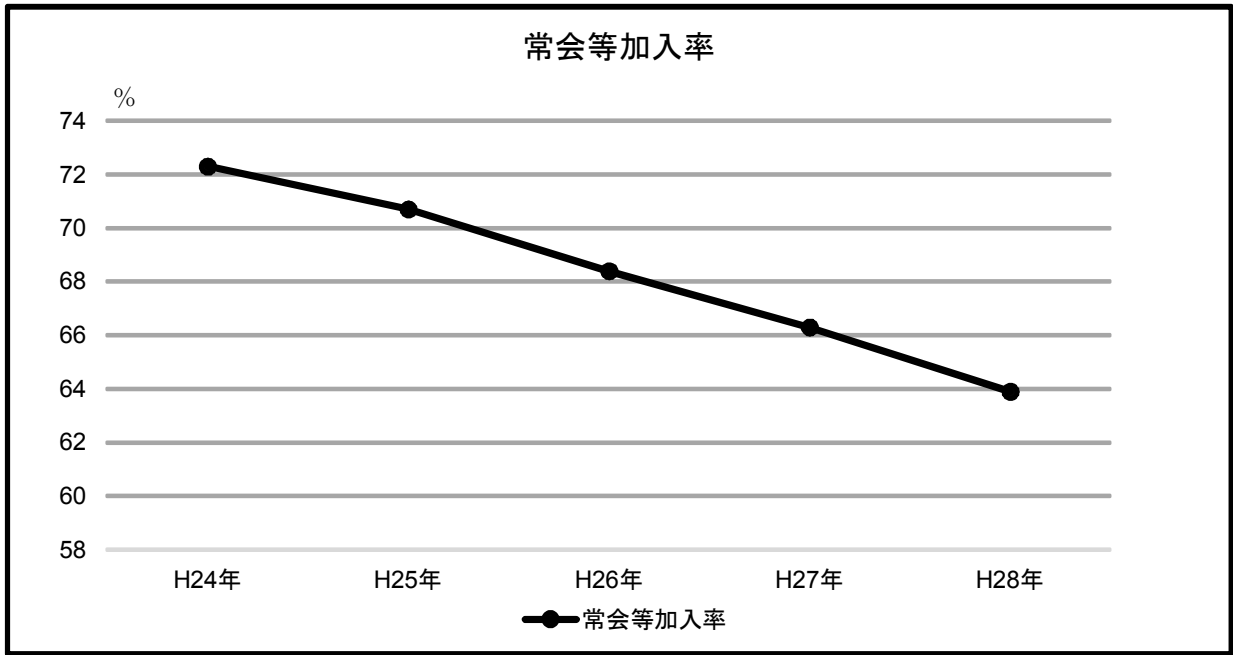
表 7 常会等加入割合

（単位：％）

	H24 年	H25 年	H26 年	H27 年	H28 年
常会等加入率	72.3	70.7	68.4	66.3	63.9

※総務課調べ。各年とも5月1日現在。

※常会とは、同じ地域に住む人達はその地域の中で支え合い、助け合うための組織。



(4) 障害者手帳所持者数の推移

身体障害者手帳所持者数は、平成 28 年で 1,012 人となっており、平成 24 年と比べ 110 人減っていますが、死亡者等の整理を行なった結果、大幅に減少となったものです。療育手帳所持者数は若干の増加傾向となっています。

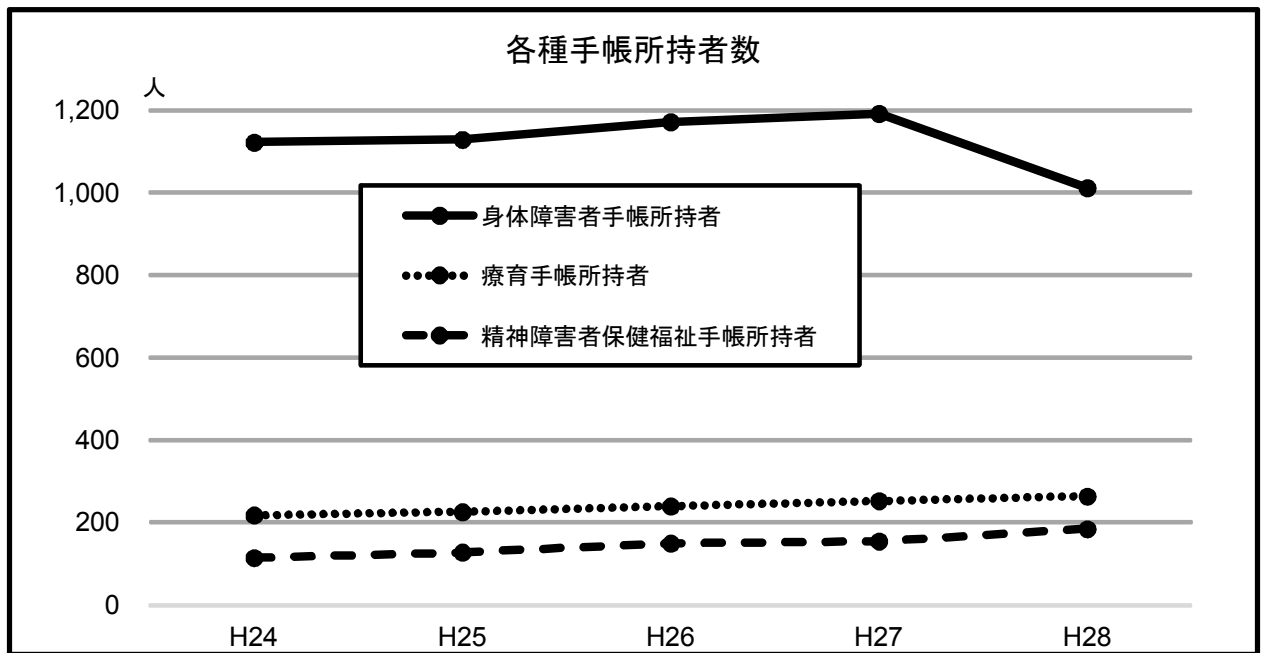
精神障害者保健福祉手帳の所持者数は、平成 28 年で 185 人と平成 24 年の 115 人と比べると、70 人増えています。手帳所持者が受けられる支援の種類が増加したことが要因の一つと考えられます。

表 8 障害者手帳所持者の推移

(単位：人、%)

区 分	H24 年	H25 年	H26 年	H27 年	H28 年
人 口	30,226	29,815	29,481	29,638	29,248
身体障害者手帳所持者	1,122	1,129	1,172	1,192	1,012
対人口構成比（身障）	3.71	3.79	3.98	4.02	3.46
療育手帳所持者	218	226	240	253	264
対人口構成比（療育）	0.72	0.76	0.81	0.85	0.90
精神障害者保健福祉手帳	115	128	150	155	185
対人口構成比（精神）	0.38	0.43	0.51	0.52	0.63

※社会福祉課調べ。各年とも 4 月 1 日現在。人口は常住人口。

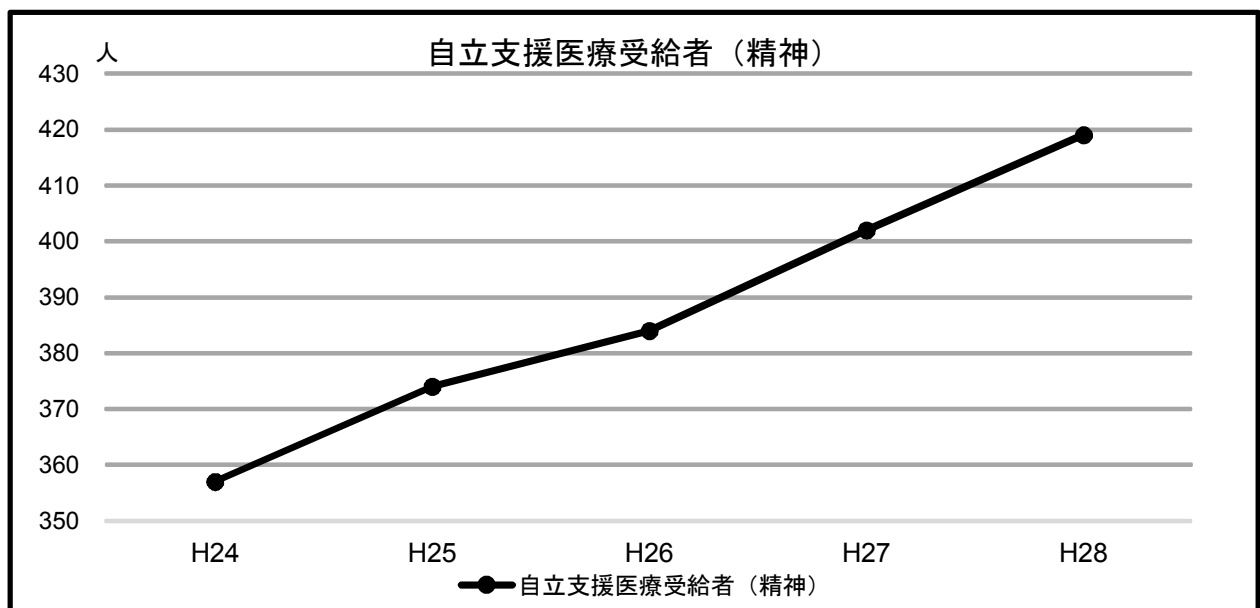


自立支援医療（精神通院医療）の受給者数をみると、平成28年で419人となっており、平成24年と比べると62人増えています。

表9 自立支援医療(精神通院医療)受給者数の推移 (単位：人、%)

区分	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
自立支援医療受給者	357	374	384	402	419
対人口構成比	1.18	1.25	1.30	1.36	1.43

※社会福祉課調べ。各年とも4月1日現在。



(5) 要介護認定者数の推移

要支援・要介護の認定者数は、平成28年で1,567人となっており、平成24年の1,396人と比べ171人増えています。また、認定率はほぼ横ばい傾向となっています。

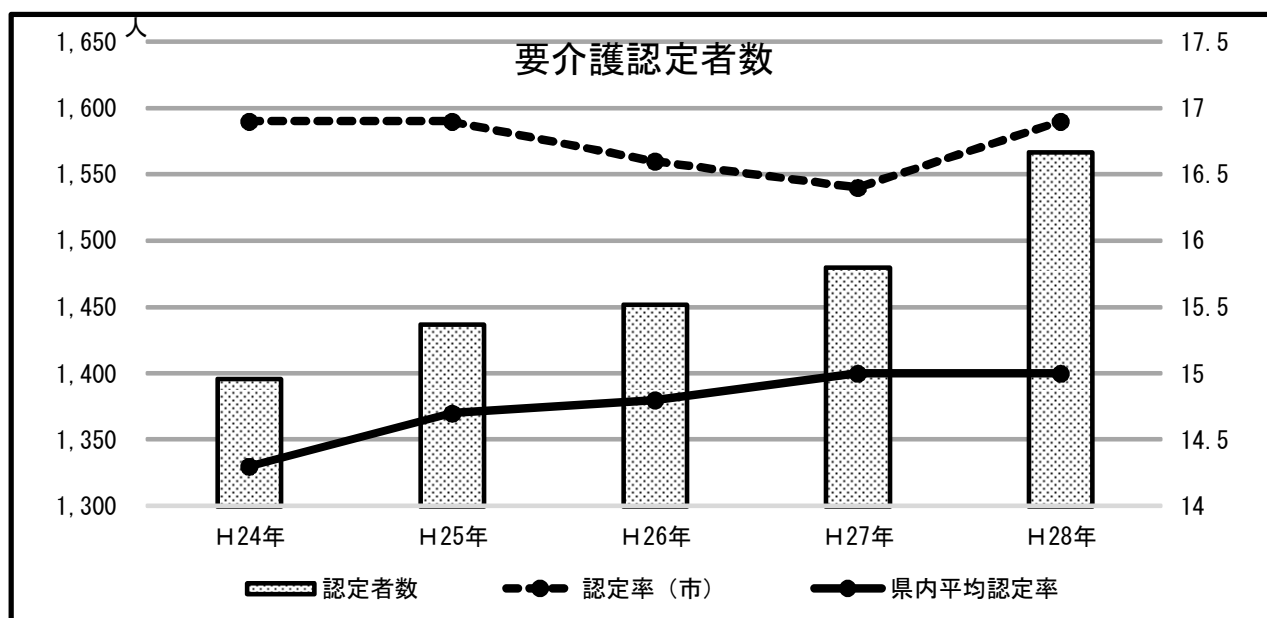
本市の認定率と県内平均認定率を比べると、県平均を上回り、介護を必要とする高齢者が増加しています。

表10 要介護認定者数の推移（第1号被保険者）

（単位：人、％）

区分	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
認定者数	1,396	1,437	1,452	1,480	1,567
認定率(市)	16.9	16.9	16.6	16.4	16.9
県内平均認定率	14.3	14.7	14.8	15.0	15.0

※高齢福祉課調べ。各年とも10月31日現在。



(6) 生活保護受給者数の推移

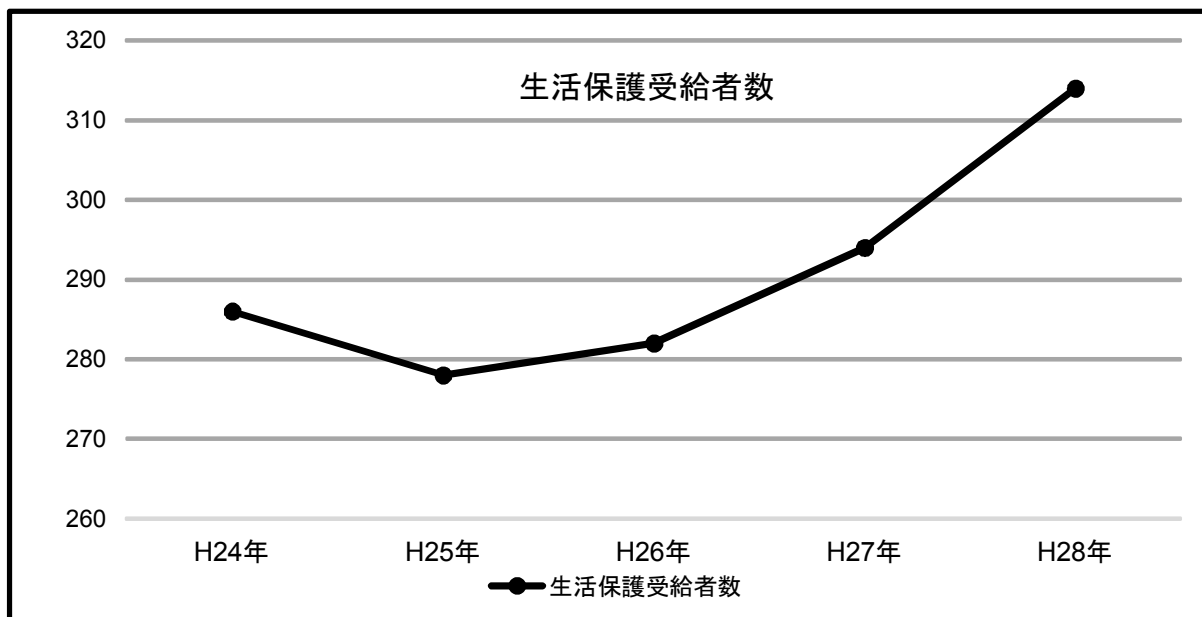
生活保護の受給者は、平成25年には前年に比べ8人減少しましたが、平成28年には314人となっており、増加傾向にあります。

表11 生活保護受給者の推移

（単位：人）

	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
生活保護受給者数	286	278	282	294	314

※社会福祉課調べ。各年とも4月の受給者数。



(7) 社協会員の推移

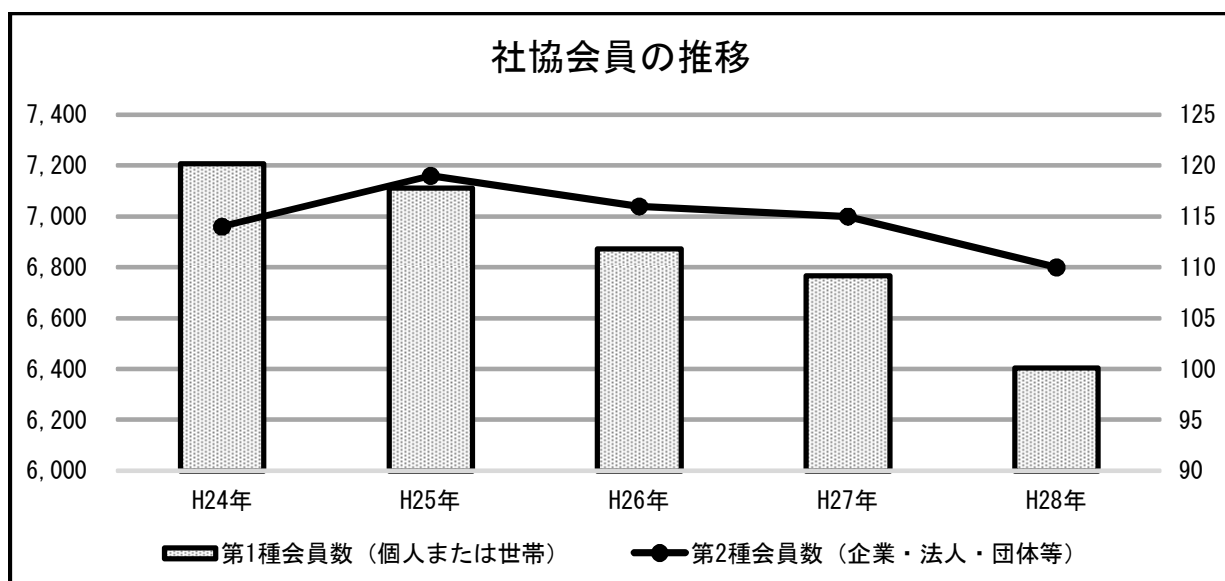
第1種会員数は、平成24年の7,206世帯から平成28年には6,405世帯に減少しています。第2種会員数は、平成24年からほぼ横ばい傾向となっています。

表12 社協会員の推移

(単位：人、世帯、団体)

	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
第1種会員数(個人又は世帯)	7,206	7,122	6,873	6,766	6,405
第2種会員数(企業・法人・団体等)	114	119	116	115	110

※各年3月31日現在、平成28年度は2月28日現在。



(8) ボランティア登録者等の推移

ボランティア登録者を見ると、団体での登録者が平成 24 年度から増加傾向となっています。個人登録者数は、平成 24 年度からほぼ横ばい傾向となっています。

表 13 ボランティア登録者等の推移

(単位：団体、人)

	H24 年	H25 年	H26 年	H27 年	H28 年
団体登録数	18	17	17	18	17
団体登録者数	272	317	341	365	378
個人登録者数	18	19	21	22	23

※各年 3 月 31 日現在、平成 28 年度は 2 月 28 日現在。

